

大阪市立大学学長予定者の選出について

1 次期学長予定者

辰巳砂 昌弘（たつみさご まさひろ）氏

〔大阪公立大学学長予定者、現大阪府立大学学長〕

2 次期学長の任期

令和4（2022）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで（3年間）

※大阪公立大学学長としての任期と同一

3 選考理由

大阪市立大学は、現在、国内外の大学間競争の厳しさが増す中、大阪の地域活性化に寄与し大阪の発展をけん引する「知」の拠点として、大阪府立大学との統合による大阪公立大学の開学に向けて取り組んでいるところである。

令和4（2022）年4月からは、新しく発足する大阪公立大学と、引き続き存続する大阪市立大学とを一体として機能的に運営していく必要がある。

学長選考会議において、様々な角度から慎重に選考を行った結果、選考委員全員一致で、辰巳砂昌弘氏が次期学長に相応しいと決定するに至った。

同氏は、平成31（2019）年度より大阪府立大学の学長に就任して以来、コロナ禍という未曾有の状況下にあっても、学長として強いリーダーシップのもと教育・研究・社会貢献の取組を着実に実施し、実績を重ねてきた。令和2（2020）年9月に大阪公立大学の学長予定者として選出されて以降は、両大学の歴史と伝統を守りつつ、「高度研究型大学」と「地域に根差した都市型大学」を両立する大学として、10年後、20年後に世界から存在感高く認められる大学を目指すという強い信念をもって両大学を先導しており、またその誠実な人柄は両大学の関係者から幅広い信頼を得ている。

また、同氏は大阪市立大学の進取の気風あふれる建学の精神や大学の理念を十分理解し、それらを大阪公立大学でも誇るべきものとして守っていく決意とともに、歴代学長が掲げてきた目標・戦略を継承し、大阪公立大学の運営と整合性をとりながら発展させるという熱意にあふれている。

あわせて、同氏は人格が高潔であり、研究者として、現在も第一線で、持続可能な社会に寄与する全固体電池の研究を続けており、学識に優れた人物である。

以上のことから、大阪市立大学の学長として、教職員と力を合わせ、大阪公立大学と一体的に運営するとともに、大阪市立大学に在籍するすべての学生のために大学での学びや交流を保証できる人物であると判断した。

4 選考経過

令和3（2021）年10月18日 第1回 学長選考会議 開催

・学長選考対象者の決定

令和3（2021）年11月19日 学長選考対象者の所信表明 受領

令和3（2021）年12月7日 第2回 学長選考会議 開催

・次期学長予定者の決定